

# 令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

教育部スポーツ課

教育部長 岩橋 平武

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
32-1	オリンピック・パラリンピック事業	あり	B	<p>聖火イベントについては、コロナ禍の中、感染対策を徹底して開催することができた。オリンピック聖火リレーでは、聖火ランナーが上半田地区祭礼に使用するちんとり舟に乗船して半田運河を走行し、パラリンピック聖火フェスティバルでは半田市出身の児童文学作家である新美南吉が執筆した童話「ひとつの火」を朗読しながら聖火を採火した。さらに、開催後は聖火トーチ等の展示や記念路面サインを設置した。この聖火イベントを通じて、半田市の魅力発信とともに、市民等がスポーツを身近なものとして感じてもらう機会を創出することができた。</p>	終了	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックは終了したが、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会においても、半田市の魅力を発信し、市民等も参加できるイベント等を開催する等、引き続きスポーツに触れられる機会の創出に努める。</p>
32-2	半田福祉ふれあいプール改修事業	あり	C	<p>施設利用者数の目標値を達成できなかった。令和3年度は、1月～3月までは大規模修繕（プール熱源ボイラー等設備改修工事）により休館となったが、これ以外にも8月末～9月は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館があったため、目標よりも利用者数が減少した。今後、安定した利用者の確保を行うためにも、水泳教室、アクアピクス、リラックソヨガ等の自主事業を積極的に開催できるよう、指定管理者との調整を進めていく。また、利用者が施設を安心安全に利用できるよう、必要な修繕や設備等の整備を行っていく。</p>	改善 推進	<p>施設の老朽化による修繕を計画的に行い、繁忙期を避けた工事期間の調整や利用者に対する休館情報の周知を的確に行うことで、利用率に影響が少ない効率的な運営に努めていく。また、新規や固定の利用者を増やすために、指定管理事業者と定期的に打合せを行い、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを充実させ、利用者の満足度向上に努める。</p>
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
C	<p>令和3年度においても、新型コロナウイルスの影響を受ける中、スポーツ推進及びスポーツ施設の利用促進を実施した。開催が一年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックでは、制限のある状況下ではあるものの、半田運河をはじめ、上半田地区祭礼に使用するちんとり舟や新美南吉等半田市の魅力を国内外に発信するとともにスポーツを身近なものとして感じてもらう機会を創出することができた。また、半田福祉ふれあいプールにおいては、グリーンセンターの広域化により、熱源共有を都市ガスにするための改修工事を閑散期に実施し、利用者への配慮やスポーツを行う場の提供を継続することができた。</p>					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
C	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックが終了し、今後は2026年に愛知で開催されるアジア競技大会が控えている。今後、アジア競技大会に向けても機運醸成を図っていく必要があり、スポーツを通じて、半田市の魅力を発信するなど、スポーツに触れられる機会の創出に、より一層の工夫が必要になってくる。スポーツ実施率の向上に向け、スポーツという可能性を幅広い視野で見ながら事業に取り組んでいくことが望ましい。また、スポーツ施設については、利用者の声を聞きながら、適正な維持・管理を行うとともに、施設の有効活用化に努めるよう整備を引き続き実施していくこと。</p>					